

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2020年
12月7日(月)
第170号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会

Tel.03-5940-7951

Fax.03-5940-7957

E-mail : honbu@tokyo-jichiroren.org

各地の取り組みを紹介します。今回は、目黒区職労保育園支部の取り組みです。

「区立保育園の民営化計画」に対する取り組み

(目黒区区職労・保育園支部)

目黒区は7月22日「区立保育園の民営化に関する計画の改定の進め方について(案)」を発出し、民設民営化の成果を強調したうえで、さらなる民営化を進める考えを明らかにしました。同時に「区立保育園の役割を明確化し適正配置する」ともしています。保育園支部としては「区立保育園の役割を明確化」したうえでこれ以上の民営化を許さない取り組みを進めています。

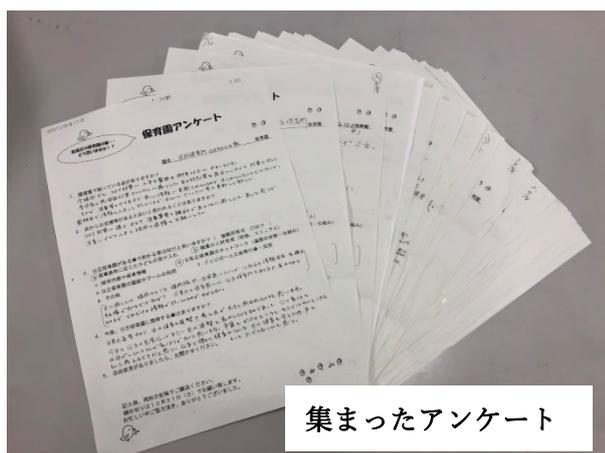
【保育園職員と私立保育園へのアンケート】

保育園支部は、まずは保育園職員に「区立保育園の民営化計画」について知ってもらおうと共に、公立保育園の役割を明らかにすることを目的とし、保育園職員アンケートを実施しました。277人分(74, 86%)が集約され、「保育園の中で話したり考えたりするきっかけになった」という声が上がりました。

「区立保育園の役割」についても様々な声が寄せられました。「保育の質」についての記載が一番多く、目に見えないソフト面の良さを「公立の役割」の中にどのようにして反映していくかは今後の課題となっています。

区立保育園の内部だけで役割を議論するのではなく、私立保育園にとっての区立保育園の役割を明確化させるためにアンケートも行いました。103園の私立認可園、小規模園、家庭福祉員にアンケートを郵送し34か所から回答がありました。今までつながりのなかった園からも多くの回答が寄せられました。「公立園と交流したい」「医療ケアや難しい保育は公立でやってほしい」「めぐろのモデル園の役割を果たして欲しい」など区立保育園への期待の高さが浮き彫りになっています。

また、保育園として考える「区立保育園の役割」以外にも、子ども家庭支援センターや保健所、学童、学校など今、区立保育園として関わりのある組織からの声も集めて運動を進めています。



集まったアンケート

【他団体との協力】

保育園の父母会で組織する父母連では、各園から「自園を民営化しないで!」の意見書等をあげる運動も始まっています。コロナ禍で各園の父母会もなかなか

か集まれていないため、難しさはありますが委託園の名前が上がる前だからこそできる運動でもあり今、1園から意見書が上がっています。父母連の中ではネット署名も取り組むことが決まっています。

また、保育問題協議会（以下保問協）や地域行事でつながった団体・個人と懇談を行い、情報提供し運動へとつなげています。

国会・都議会請願署名の取組みと合保問協と一緒にチラシを作成し、5つ宣伝を行い、今後2か所で駅頭宣伝をします。当初コロナ禍での宣伝行動は、応がどうなのか心配の声も多く上がりしかしやってみると「私も保育士をみます。頑張ってください」と若い方かかったり、通りかかった保護者から「先もやってるんだね、署名書くよ」と激参加者も元気になりました。

【執行体制の確立を求めて】

区立保育園の役割を議論する中で、「役割を果たすためにも執行体制（＝職員の配置や保育環境の整備など）の確立なしにはできない」という話になりました。今、産休や育休代替は、人材派遣で代替職員を派遣していますが、人を確保できず、4月から欠員が生じています。今回の運動を通して（1）産休代替は正規職員の配置で（2）全園に事務職の配置を（3）医療的ケア児のガイドラインの作成を改めて求めていこうと、話し合っています。



わせて、の駅頭で予定して街頭の反ました。指している声がか生、今年励もあり、

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】

公的保育・福祉を守る東京実行委員会

リモート情勢学習会に参加しよう

テーマ 「ウイズコロナの保育をめぐる情勢と保育運動の課題」

講師：高橋光幸さん（東京自治労連保育部会）

日時 12月13日（日）10：00～12：00（9：30～接続できます）

お問合せ：東京保問協 ☎ 03-6265-3830

FAX 03-6265-3831

